

TAKE OFF! いんくる通信 No.1

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎「TAKE OFF!」発行に当たって

この6月でいんくるが開設されてちょうど3年になりました。就労訓練、就活プログラムも充実し、就職者も順調に輩出することができています。利用されている皆さんも自分のキャリアに日々真剣に向き合っていることと思います。しかし、自分のしていることはよくわかっていんくる全体はどのようなことをしているのかよくわからない、ほかの人の経験をもっと聞きたい、などの意見も伺っています。加えて我々には、ご家族や関係者、地域の皆様にいんくるの活動内容を広く知っていただきたいという思いもあります。当面は隔月での発行になります。今後は企業の声、制度の解説なども取り上げていきたいと思っています。この、いんくる通信「Take Off!」の発行を通して、皆様からのご意見も届きながら、我々自らの研鑽にも充ててまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。(鈴木 誠)

◎第2回 就職者の会を開催しました。

ある日、いんくるを卒業したOBの職場訪問で、OBの方から、「一緒に就職を目指した仲間はどのようにしているのでしょうか」という声をいただきました。いんくるでも、就職者の方が15名(今年2月当時)と増えてきたことから、「それなら、みんなで集まって話せる場があったらいいよね」ということで、今年の2月に「ジョブアシストいんくる 就職者の会」を初めて行いました。当日は多くの方に参加いただき、ともに就職を目指した戦友と、昔話に花を咲かせたり、それぞれの職場の様子を共有したりと、楽しいひとときになりました。そして、多くの方から「次回も楽しみにしています」という感想をいただき、6/3(金)の夜、第2回就職者の会を開催しました。当日は10名の方が参加されました。今回は、前回参加されなかった方がいらしたこともあり、「おー、久しぶり！元気にしてた？」と声を掛け合って、再会を喜んでいました。聞けば卒業以来、1年以上会っていなかったそうですが、ブランクがあっても、すぐに打ち解けて以前と同じように話をされており、さすが、同じ経験をした仲間の絆の強さを実感しました。皆さんで食事をしながら談笑し、昔の仲間との交流を楽しんだ後は、ミニゲームで席を交換し、いんくる在籍時期が違う仲間との新たな出会いを楽しんでいただこうと、参加者全員の近況報告をいただきました。皆さん、それぞれの職場でどのような仕事をしているか、簡単に紹介いただいた後、仕事への思いや職場でのエピソードなどをいろいろと話し

てくれました。「会社の部署名がなかなか覚えられなくて大変です」、「仕事は大変ですけど、周囲の同僚に支えてもらっています」、「最近同僚が辞めてしまって、その自分自分が頑張らなきゃって思ってます」、「職場の上司がなかなか難しい人で、ストレスが溜まりますけど、なんとかやっていますよ」…皆さん、実感をこめて仕事の苦労や大変さ、やりがいを話してくださり、聞いていた他の方も、「ああ、それうちも同じ」とつぶやいていたのが印象的でした。これからも、新しい就職者の仲間が加わりながら、就職者同士で交流を深める場として続けてまいります。(後藤耕士)



◎目の前のことをひとつひとつ

アフラック・ハートフル・サービス株式会社 黒部浩将
今年5月に入社し、およそ1ヶ月が経過しました。業務内容は事務や軽作業です。初めのうちは分からないことだらけでした。けやきではほとんどの作業が経験済みで、分からないことは少なかったのですが、今は本当に一年生という感じでした。そんな中、「トライ・アンド・エラー」(試行錯誤)という言葉を実践しています。経験値の乏しいことは分からなくて当たり前。まず、何が分からないのかをはっきりさせ(分からないことが分からないでは対処のしようがありませんから)、質問し、一つずつ分かることを増やし、一步一步前進しようというわけです。就職前も就職後も私のやるべきことは変わっていません。目の前のやるべきこと一つ一つに集中し全力を尽くすことだけです。「当たり前のことを当たり前にやりなさい」と中学校で習いました。就職が決まるまでは焦る気持ちもあるでしょうが、毎日やるべきことをしっかりやっていると結果は自ずとついてくると思います。

◎プログラム紹介「グループワーク」

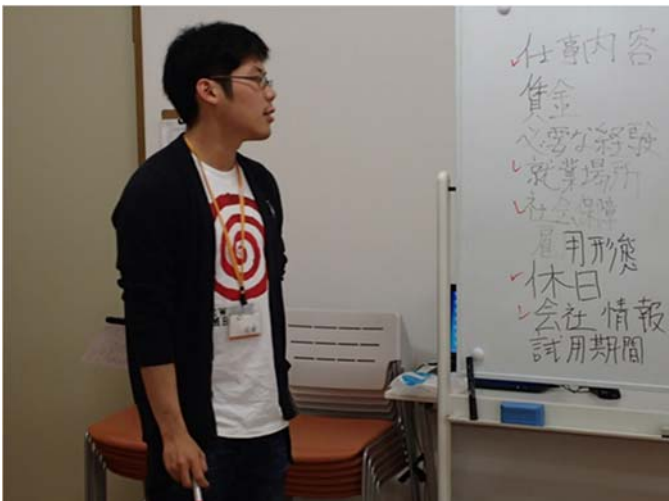
ジョブアシストいんくるの就活プログラムの1つに「グループワーク」があります。

ここでは、複数の参加者(現在6名)により、①1つのテーマについてディスカッションを行う、②テーマに応じた成果物を作成する、③検討結果をプレゼンテーションする、の大きく3つのワークを実践しています。



まず、ディスカッションでは、①集団の中で「自分の意見を言う力」「人の話を聞く力」を身につける、②チームで意見をまとめていく(結論を導き出す)力を身につける、というディスカッションの基本的なスキル習得に併せ、③議論の場における色々な役割(議論が活発になるように意見を言う、他者に意見を求める、議題が逸れないようにバランスをとる、たくさんの意見をうまくまとめる、場の雰囲気や和らげるなど)の中で、自分の得意なことを見つけていくことを目指していきます。

次に、成果物作成では、①議論の結果を目に見える形にまとめていく、②協働作業の中で、チームワークの重要性を学ぶことを目指しています。最後のプレゼンテーションは、聴取者の前で大きな声でわかりやすく話す練習です。現在は、「求人票の見方」をテーマに、求人票から得られる情報、見方のポイント、その情報を得る目的等について議論をし、それをマニュアルとしてまとめる作業をしています。(全5回)



このプログラムでは、これまでに様々なテーマを取り上げてきました。「井の頭動物園のリニューアル企画」、「新しい国民の祝日を作る」、「コンビニエンスストアにあったらいいサービス」等多数です。各回オリジナリティある提案がたくさん出てきて、参加者の想像力の高さが感じられます。いんくるご利用当初、「大勢の中で自分の意見を言うことは苦手だ」とおっしゃられる方は多いですが、このプログラムに参加していく中で、自己表現に自信を持たれた方や自分の得意な役割を発見された方はたくさんいらっしゃいます。今後も、参加されるお一人お一人が、大勢の中での自己表現への不安を払拭させながら自信を高め、さらには一緒に作業をしていく中で、チームワークの楽しさ・大切さを感じ取っていただけるようなプログラム運営をまいります。(吉田 友一)

◎平成28年度 就職者の状況

平成28年度は6月1日現在で2名が企業に就職しました。

Aさん アブラック・ハートフル・サービス株式会社 様

Bさん 株式会社コヤマドライビングスクール 様

【平成28年6月現在 就職者累計18名】

◎お知らせ

○平成28年4月から、新たなスタッフが加わりました。

【小野 裕】(おのゆたか)

今年度よりいんくるを利用する皆さまのお手伝いをさせていただくことになりました。武蔵野市就労支援センターあいの業務と兼任になります。座右の銘は「見る前に飛ぶ」です。準備は大切なのですが、考えすぎてしまうと一歩を踏み出せないことがあります。思い切りよく **TakeOff!** してみましょう。次の世界が待っています。

【猪狩真紀子】(いがりまきこ)

今は主に作業センターの方に入らせて頂き、皆さんの得意なことや苦手なことは何だろう?等、考えながら毎日を過ごしています。センターで皆さんと働いている経験が、これからいんくるでの仕事に役立てられる様に頑張ります。どうぞ宜しくお願い致します。

○4月から矢澤主任統括はワークセンターけやきの副施設長として活躍しています。

開設から約3年間、みなさんの就職活動に関わらせていただき、私も一支援者として多くのことを学ばせていただきました。これからは、けやきで「実際の仕事の場面」において、就職に必要なサポートをさせていただきたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。【矢澤 潤一】

Take Off! いんくる通信 No.1 2016.07.01

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>